



福利厚生



奨学金制度

平塚市民病院では、大学や専門学校等の施設（以下、「養成施設等」）を卒業後、当院に勤務する意思がある学生を対象に、将来、地域医療に貢献できる優秀な看護師・助産師の養成を目的とした奨学金制度があります。

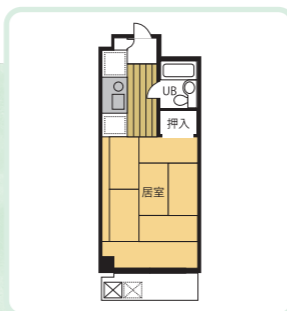
休暇

- 年次休暇 20日付与（ただし、採用される月によって付与される日数が異なります。）
- 夏季休暇 7日付与
- そのほか休暇
リフレッシュ休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、病気休暇、短期介護休暇、忌引等

職員寮

病院に隣接しているので通勤は徒歩1分。

ワンルームタイプでキッチンはうれしいビルトイン2口！親しい友人とは休日にお互いの部屋に泊まり、リラックスして楽しい時間を過ごしている利用者もいます。



子育て支援

病院の敷地内に院内保育所があります。家庭的な雰囲気でお子さんをお預かりします。夜間保育も充実しており、夜勤も安心です。周辺にはたくさんの緑があり、天気の良い日には近くにある公園や池へ散歩に出かけるなど体験も充実しています。



日勤夜勤共に勤務時間中利用できます。託児所、家族と協力しながら日々頑張っています。



東京・横浜へも1時間以内の好立地！



平塚市民病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1
TEL.0463-32-0015
<https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/kangobu/>

インターンシップ・病院見学会・採用情報などはHPをご覧ください

インターンシップ・病院見学会



採用情報



平塚市民病院

看護職員採用のご案内

Hiratsuka City Hospital
Nursing staff
recruitment guide



平塚市民病院HP



「人が好き」 だから 「看護が好き」

誰かの力になりたい。
誰かの支えになりたい。
看護師を目指した人たちが一様に思う素直な気持ちです。
一人ひとりを尊重した支援は、
まず患者さんに関心を持つことから始まります。
その思いを「看護」という形に乗せることで、
患者さんの苦痛を少しでも和らげ、
患者さんの「思い」「願い」「迷い」に
寄り添う看護を提供したいと思っています。



看護部 理念

尊重と思いやり

患者の意思を尊重し、多職種と共に思いやりある心で看護サービスを提供します。

【看護部の方針】

平塚市民病院経営強化プランに基づき、市民病院として担うべき役割を踏まえ、以下の取り組みを推進します。

- 1.安全で質の高い看護を提供します。
- 2.チーム医療を推進します。
- 3.一人ひとりが専門職として高い倫理観を持ち自己研鑽に努めます。
- 4.ともに成長できる環境を整えます。
- 5.看護活動を通じて地域に貢献します。
- 6.経営に積極的に参画し組織に貢献します。



看護部長からのごあいさつ

Message

患者さんの「願い」「思い」「迷い」に向き合い、寄り添う看護を行なうことが、平塚市民病院の看護師の務めです。そのためには、「尊重と思いやり」の心が重要です。

患者さんやその家族に対してだけでなく、一緒に働く多職種に対しても尊重し思いやる心で係わりながら、よりよい看護を行なっていくことの大切さを共有したいと考えています。そして、働きがいのある職場で看護が行えるように、看護師の育成や定着に対しても支援に努めています。



副院長兼看護部長 稲村ほづみ

教育理念

「知る」「気づく」「考える」「行動する」「確認する」 キャリア開発と自立を支援する看護師教育制度

クリニカルラダーシステム



当院には現在、精神看護・家族看護の2分野2名の専門看護師が在籍しています。それぞれ所属部署での活動のみならず、組織横断的な活動を展開しています。各々の分野のスペシャリストとして多職種と協働しています。

専門看護師

当院には13分野20名の認定看護師が在籍しています。認定看護師は「実践」「指導」「相談」の役割があり、臨床の場で専門性を活かした質の高い看護の提供とチーム医療の推進に努めています。

認定看護師

特定行為看護師として、研修で学んだ知識と技術を活かし、集中治療室や救命救急病棟を中心に、医師や病棟スタッフと協力しながら患者さんに対して迅速に適切な治療ケアを提供することに努めています。

特定行為看護師

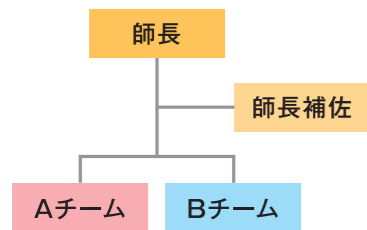
【集合教育研修】

	新卒1年目(ラダー:新人レベル)					2年目				3年目			4年目以上またはラダーIIレベル	主任	主査・師長補佐	
	オリエンテーション	基礎I	基礎II	基礎III	基礎IV	基礎V	ラダーIレベル									
社会人基礎力	①規則・規律・服務	②発信力・課題発見力・計画力		③-1 患者視点働くとは	③-2 ③-1で実行したこと	④人事評価基準の明確化			④人事評価自己と他者の一致			⑤チームの一員				
コミュニケーション力	対人スキル	伝える・聴く												傾聴・交渉		
看護技術	技術訓練		採血		急変時の対応	必須項目の修了			iv	実技修得: 2月末まで	必須項目の修了					
フィジカルアセスメント			フィジカルI-①		I-②			フィジカルII				フィジカルIII				
	フィジカルイグザミネーションの確認・7つの観察			Iの実践度を自己認識する			主訴からのフィジカルアセスメント			訴えられない患者						
チーム推進力						メンバーシップ			継続看護のチーム力			チームとして前に踏み出す力		問題解決能力	ケアの質向上	
	メンバーの一員として行動できることを具体化する															
入退院支援										入退院支援リンクナースのシャドー						
ニーズを捉える意思決定支援									レポート提出	②患者の思いを聴く	③ニーズ~ケアへ			倫理III		
看護を深める(ナラティブ)						ナラティブI					ナラティブII	ナラティブIII	ナラティブIV			
	大切にしている看護を自己認識する															
倫理								倫理I				倫理II	倫理III: 尊重			
リーダーシップ													Re.フレッシュリーダー			
									日替わりリーダーのシャドー							
人材育成														共育	役割モデル	指導・助言
看護管理	I医療安全・情報管理														管理II	管理III

平塚市民病院看護部の新人サポート体制

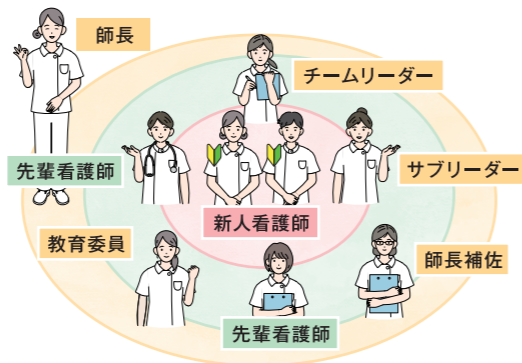
【固定チームナーシング】

半年～年単位でメンバーやリーダーを固定する看護提供方式です。メンバーがほぼ固定されるのでコミュニケーションがとりやすく効率的に看護ケアを学べます。



【みんなで育てる新人看護師支援体制】

固定チームナーシングを軸に、新人看護師を支援する体制を形成しています。



【カンガルー方式】

一年程度を目安に、先輩がカンガルーのお母さんようになって持っている知識・技術・態度・臨床実践等を日常から学べるよう支援します。成長スピードに応じて独り立ちを進めチームの一員として行動できる看護師へ育てていきます。

何か困っていることはある？

採血の準備はね

夜眠れてる？

この子もいつかは自分の足で

休憩の取り方はね

情報を取る方法はね...

10ヶ月～1年半で袋から出る！...出られる？

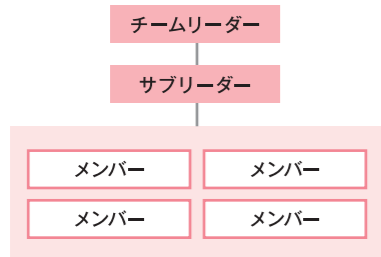
相談がある時はいつでも連絡してね？

配薬の仕方はね

勤務希望はね

夜勤の時はね

1チームの構成



平塚市民病院看護師のワークスタイル

勤務サイクル(例)

※2024年12月新卒看護師の実際の勤務表

日	月	火	水	木	金	土
1 公休	2 日勤	3 日勤	4 日勤	5 年休	6 公休	7 公休
8 公休	9 日勤	10 日勤	11 準夜	12 深夜	13 公休	14 公休
15 日勤	16 日勤	17 日勤	18 公休	19 日勤	20 日勤	21 準夜
22 深夜	23 公休	24 公休	25 日勤	26 日勤	27 準夜	28 深夜
29 公休	30 公休	31 日勤				

日勤…8:30～17:15
夜勤2交替(準夜・深夜)…16:30～9:00※夜勤の次の日は必ず休みがつかます。

一日の仕事の流れ

- 8:30 朝礼・夜勤からの申し送り
- 8:35 担当患者さんにご挨拶
- 8:40 点滴や内服の確認
- 担当患者さんの手術や検査の準備



- 9:00 受け持ち患者さんの検温
- 10:00 患者さんへのケアなどを実施
- 11:30 昼食(交代で1時間ずつ)
- 13:30 チームカンファレンス



- 14:00 入院患者さんの受け入れ
- 14:00 患者さんの離床の援助
- 16:00 患者さんの状況を報告
- 17:00 夜勤へ引き継ぎ、業務終了



チーム医療

ICTチーム



患者さんやご家族、病院職員など、病院内すべての人を感染から守るため、組織横断的な活動をしています。

緩和ケアチーム



患者さんにご家族の思いに寄り添えるよう、多職種が協働し多角的な視点からケアの提案を行います。

排尿ケアチーム



排尿ケアラウンドを行い、排尿障害の改善や排尿自立に向けた支援を行っています。

RRSチーム



院内患者の病態変化を迅速に察知して、心停止や重篤な有害事象を予防するために活動しています。

認知症ケア



認知機能低下による患者・家族・職員の困りごとや身体抑制ゼロに向けて多職種と連携・協働した活動を行います。